

動物用医薬品

使用基準

要指示医薬品

指定医薬品



アンピシリン系抗生物質製剤

オーテシン散



特長

- 1 広範囲な抗菌スペクトルを持ちます。
- 2 殺菌的に作用します。
- 3 耐酸性で、経口投与により良く吸収されます。
- 4 胆汁中に高濃度に移行するので、消化器疾患に有効です。



あすかアニマルヘルス株式会社

オーテシン散

成分 及び 分量	有効成分	アンピシリン水和物	<p>(取扱い及び廃棄のための注意)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飲水投与の場合は、用時調製すること。 ・ 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。 ・ 本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。 ・ 小児の手の届かないところに保管すること。 ・ 本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。 ・ 誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。 <p>2. 使用に際して気を付けること</p> <p>(使用者に対する注意)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。 ・ 本剤が眼に入った場合は、直ちに水でよく洗い流し、医師の診察を受けること。 ・ 事故防止のため、作業時には、防護メガネ、マスク、手袋等を着用すること。 ・ 作業後は、石けん等で手をよく洗うこと。 <p>(対象動物に関する注意)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本剤の投与前には健康状態について検査し、使用の可否を決めること。 ・ 副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。 	
	分量	1g中100mg		
効果 又は 効果	有効菌種	ブドウ球菌、クロストリジウム、大腸菌、サルモネラ		
	適応症	子牛：細菌性下痢症 豚：細菌性下痢症 鶏：ブドウ球菌症、壊死性腸炎、大腸菌症		
用法 及び 用量	1日1回、体重1kg当たりアンピシリン水和物として下記の量を強制的に経口投与するか、又は飲水に溶かして若しくは飼料に均一に混ぜて経口投与する。 牛(生後6月を超えるものを除く.): 4~12mg(力価) 豚：4~12mg(力価) 鶏：5~20mg(力価) ただし、重症例には上記量を1日2回又は上記量の倍量まで増量する。			
	使用上 の注意	<p>(基本的事項)</p> <p>1. 守らなければならないこと</p> <p>(一般的注意)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。 ・ 本剤は効能・効果において定められた目的のみ使用すること。 ・ 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。 ・ 本剤の使用に当たっては、適応症の治療上必要な最小限の期間の投与に止めることとし、週余にわたる連続投与は行わないこと。 ・ 本剤は「使用基準」の定めるところにより使用すること。 		
		<p>注意: 本剤は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、使用対象動物(牛、豚、鶏)について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守して下さい。</p> <p>牛(生後6月を超えるものを除く.): 食用に供するためにと殺する前5日間 豚: 食用に供するためにと殺する前5日間 鶏: 食用に供するためにと殺する前2日間</p>		
	包装	内装: アルミ袋(1kg) / 外装: 紙箱(1kgX10)		
	貯法	室温保存		
	使用期限	3年		



製造販売元

あすかアニマルヘルス株式会社

東京都港区芝浦二丁目5番1号
TEL. 03-5439-4188 FAX. 03-5439-4191